

# あがつま



年間聖句

『兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。』

(ガラテヤの信徒への手紙 5章 13節)

♪ 賛美歌を歌おう⑩

『朝日はのぼりて』

讃美歌 … 97番)

この賛美歌は1868年に日本で創作され、日本基督教一致教会の『讃美歌』(1881年)に収録されました。作詞者は奥野昌綱(1823-1910)だと推定されているようです。降誕の場面を歌い描くのではなく、救い主の到来により光に満たされる世界を、美しく表現しています。

もともとは『もろびとこそりて』(讃美歌 112番)の旋律で歌うように指定されていますが、様々な旋律が組み合わされてきたようです。有名な旋律ではスコットランド民謡で、日本では唱歌『蛍の光』で親しまれている『Auld Lang Syne』と組み合わされて歌われて

いた記録も残っています。

『讃美歌』(1954年版)編纂時に、鳥居忠五郎

(1898-1986)が作曲した現在の曲が組み合わせられ、広く愛唱されるようになりました。

クリスマス喜びを歌う賛美歌はたくさんありますが、午前中の礼拝で用いようとすると、『夜』を連想させる歌詞のものが多くていつも悩んでしまいます。そのなかで「朝日は昇りて」と歌い始めるこの賛美歌は、陽の光の中で守られる礼拝でこそ歌いたい賛美歌です。



稲垣真実)